

令和7年度 第2回 学校運営協議会

令和7年6月26日(木)

1 日程説明 (於：校長室) 14:30～14:35

2 授業参観 ※6校時(木4) 14:05～14:55 14:35～14:55

学 級	教 科	指 導 者	教 室
1年1組	英語	藤井茉里菜	1年1組教室
2年1組	家庭	松本 闘志	2年1組教室
3年1組	数学	小林 雅樹	3年1組教室
3組、2組	社会	山田 真史 來住 訓世	3組教室

(於：校長室) 15:00～16:00

3 開催要件確認

4 会長あいさつ

5 校長あいさつ

6 議長の選出

7 前回会議録確認

8 熟 議

(1) 参観の様子

(2) 蒼天祭について

(3) 部活動について

(4) 資源回収について

9 報告

・各学年より (生徒の様子や学年行事について) : 各学年より

・コミュニティースクール研修を受けて

10 その他

・学校経営書

・中体連浜松地区大会日程

・今後の運営協議会予定

第3回 11月25日(火) 14:30～

(今後の支援について 等)

第4回 2月17日(火) 15:00～

(学校評価・CS自己評価・R8年度学校運営方針 等)

・部活動参観 (自由参観) 16:00～

×E

令和7年度 第1回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和7年4月17日（木） 14時30分から16時00分まで
- 2 開催場所 春野中学校 校長室
- 3 出席委員 鈴木誠、児玉順子、市川相寿、山下尚美、森下廣隆
- 4 欠席委員 正久幸廣、松井 渉
- 5 学 校 北野昌宏（校長）、矢入信典（教頭）、片瀬博之（教務主任）、清水悦子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 清水悦子（CSディレクター）

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された鈴木委員から、児玉委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木会長から委員全員で順番に議長を務めたらどうかという旨の発言があり、協議の結果、全員意義なくこれを承認した（鈴木会長が、本日の議長を務めることを申し出、全員意義なくこれを承認した）

11 協議事項

- (1) 本年度の学校経営構想・教育課程について
- (2) 授業参観を通して生徒の様子
- (3) 夢育やらまいか事業に対する意見書（案：春野PR活動について）

12 会議記録

司会の 矢入信典 教頭から、委員総数7名のうち5名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 本年度の学校経営構想・教育課程について

- ・ 議長の指示により、校長から別紙資料に基づきグランドデザインの説明があった。
- ・ 学校教育目標である「春野を誇りとし、自他をかかわり、成長する生徒の育成」を目指していきたい。
- ・ 北野昌宏校長の説明により、春野中学校の学校運営基本方針について、全員意義なく承認した。

別紙資料に基づき、委員から以下の発言があった。

- 生徒の数が少ないと元気な子、引っ込み思案な子と目立つ場合がある。上下関係、友達関係も固定される。大勢いる学校ではクラス替えなどで切磋琢磨しながら色々な中で見える事もあるのだろうけど小規模校の難しいところだと思う (鈴木委員)
- 子供も大人も先生も否定するのではなく、こういう意見もあるのだという事をお互いに認めあう事が大事。色々な事にチャレンジして恐れなくてやるという事を早いうちから身につけると良いと思う。 (市川委員)
- 中学生になると上下関係、団体行動の中で我慢しなければいけない事もあるだろうし思春期で難しい時期だと思う。学校教育目標のかかわるという事が重要だと思う。
- いじめ ハラスメントの見極めが難しい。受け取り方次第で言った方も気が付かないと言う事もあると思う。 (森下委員)
- 目指す生徒像で(自己の考えを堂々と語れる)とありますが、これからは、プレゼン能力が社会に出て必要になってくるだろうし、(自他を尊重し)のところで、ここが両輪でうまく回っていく形ができると理想的。
自分の考えを誰かが認めてくれる、相手の意見も尊重し正義感を押し付けるような形にならない形が理想的。一番 根元にあるのは自分自身を認め大切に思う気持ちではないかと思う (山下委員)
- 自分の考えを主張すれば相手と対立することが出てきてしまって、いじめに繋がっていく。自分が良いと思っても相手がそれを受け入れられないと圧力が生まれる。悪意がなく教えてあげたい気持ちでも受け入れられないのは家庭環境、成育歴によるものだと思う。特に小規模校だと家庭環境も考慮しながら指導していくべきだと思います。お互い良かれ思っただけのことか相手にどう捉えられるか、中学生が考えて想像できるかは難しい問題だけど、この2点は大切だと感じました。 (児玉委員)

(2) 授業参観を通して生徒の様子

・授業参観後、委員から以下の発言があった

- 男女の比率が悪いが大丈夫かなと感じた。 (鈴木委員)
- 1年生から順番に参観してきたけど成長度合いの違いを感じた。 (市川委員)
- 教室の掲示に一人ひとりが本年度の目標を学校教育目標に基づいて書いてあり、子供たちが目標を立て、その為に行動することを年度当初に言葉にして貼ってあった。それを評価していくのは学校教育目標にとって大切なことだなと感じました。 (児玉委員)
- 先生方は、よく目を通して見てくれており、遠足の写真がたくさんあって子供たちの笑顔が印象的。まだ始まったばかりなのに、クラスのまとまりも写真を通して感じた。(森下委員)
- 1年生の男の子達は、元気な子が多いのですが、落ち着いて頑張っているなと感じた。 (山下委員)
- 男女のバランスは良くないけど、みんな割と男女関係なく平気で交流していて凄いなと感じた。 (鈴木委員)

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書 (案:春野PR活動について)

・議長の指示により、矢入信典教頭より夢育やらまいか事業に対する意見書及び春野PR活動についての説明があった

その他、報告事項等

- ・片瀬博之教務主任から年間計画の説明があった。

今後の予定（学校運営協議会）

第2回 令和7年 6月26日（木）14時30分～

第3回 令和7年11月25日（火）14時30分～

第4回 令和7年 2月17日（火）15時00分～

（学校評価・CS自己評価・R8年度学校運営方針 等）

○部活動参観（自由参観）16：00～

R7蒼天祭の実施について

担当 特別活動主任

1 ねらい

- ・ 特別活動の協力の場、助け合いを中心とした生徒相互の結束の場、教師と生徒の信頼を深める場とする。
- ・ 「地域の人に元気を運ぶ春中生」の具体的な発表の場として、保護者や地域の人へ発表の一場面とする。

2 日時

令和7年11月1日(土) 9:00~15:00(予定) *雨天時、3日(月)に順延

3 蒼天祭スローガン

「 架け橋 ～さらにその先へ～」

4 蒼天祭運営組織

実行委員

	秋輝の部	黎明の部
3年	◎長倉 綜志	○大石 悠華
2年	清水 梨央	岩本 栞
1年	中田 龍之介	長倉 基紘

蒼天祭実行委員長(3年 長倉)

総務 : 蒼天祭実行委員長(正・副)2名 ・ 前期生徒会執行部(5名)

企画 : 蒼天祭実行委員(各学年2名)

運営

☆体育的活動の部, 文化的活動の部

蒼天祭実行委員会 … スローガン, ポスター, 開閉会式の進行, 賞状準備
合唱リーダー, 当日の運営(司会等)

前期生徒会執行部 … 生徒会種目, 掲揚台, 聖火関係

情報委員会 … BGM, 放送原稿作成, 当日アナウンス

生活委員会 … 招集, 発走, 本部記録用紙記入, 得点板関係, 着順

衛生委員会 … 用具準備, 出発合図, 環境整備, 案内板

5 実施内容(案)

☆ 文化的活動の部(AM)

- ・学習成果発表(総合的な学習の時間, 少年の主張, 英語スピーチ 等)
- ・学年合唱
- ・全校合唱

☆ 体育的活動の部(PM)

- ・徒競走
- ・玉入れ
- ・借り物競走
- ・生徒会種目
- ・紅白対抗綱引き
- ・紅白対抗リレー
- ・春中ソーラン

※生徒の絆を深め、行事全体を盛り上げる縦割り活動を随所で実施する。

☆文化展示(赤レンガ)

例:各教科の作品(書写,美術等) 総合的な学習の時間のまとめ、有志展示(写真,イラスト,詩,プラモデル,クラフト等)

6 今後の予定

5/29(木)昼休み	2,3年各自ソーラン練習
5/30(金)放課後	2,3年合同ソーラン練習 @体育館
6/2(月)	生徒集会(団決め)、縦割り活動①(ソーラン練習)
6/16(月)	蒼天祭実行委員会(具体的な実施内容検討)
6/23(月)	蒼天祭実行委員会(縦割り活動の具体化、7/7について)
7/7(月)	縦割り活動②

※生徒集会後、3年生は赤、白組のTシャツ作成に取りかかる

<第2回学校運営協議会資料>

今後の部活動について

令和7年6月26日(木)

○部活動の意義

- ・スポーツや文化に興味を持つ生徒が自主的、自発的に参加するもので、継続して努力をし、充実感や達成感を味わう。
- ・集団で切磋琢磨する中で、望ましい人間関係や社会的資質を培う。
- ・生涯スポーツの観点から、健やかな体と豊かな心を育て、家族や地域とのつながりを深める。

○変革の根拠と概要

- ・教員の働き方改革における、部活動指導の在り方の見直し。
- ・生涯スポーツの観点から、生徒への過度な活動に対する負担軽減。
- ・生徒が家族と過ごす時間を増やしたり、地域活動へ積極的に参加したりする機会を増やす。

○今後の動向 ※浜松市は、当面は部活動はなくなる。

今現在の部活動：週平日5日のうち4日活動可。2時間程度。

土、日どちらかで活動可。3時間程度。

※大会等は、この限りではない。

令和7年度8月より、平日5日のうち活動は3日。

土、日どちらかで活動可。3時間程度。

令和8年度9月より、土、日、祝日の部活動は地域展開へ。

○春野中部活動状況

	3年		2年		1年		合計		総計	8月~→ R8 新入生説明会時
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
野球	3	0	0	0	1	0	4	0	4	1 → 1
陸上競技	3	3	4	1	5	0	12	4	16	10 → 12
ソフトテニス	0	3	0	5	0	0	0	8	8	5 → 5
卓球	2	0	2	1	2	1	6	2	8	6 → 10
非加入	1	1	0	3	6	1	7	5	12	10 → 14

※大会参加について

野球部は、清竜中、光が丘中、水窪中、春野中の合同チーム。

ソフトテニスは、個人戦は最低2人、団体戦は最低4人必要。

卓球は、個人戦は最低1人、団体戦は最低6人必要。

○今後の春野中の部活動

人数に偏りがあり、学年によっては、部員がいない部もある。ソフトテニス部は、来年夏以降、部員0の可能性もある。現状2年後には、4部活から2部活になる可能性がある。

今後、部活動を継続していくうえで、休部や廃部も視野に入れ、話し合いを持ち、規定を作成して、部活動の在り方や存続を考えていく必要がある。

○学校地域クラブについて

令和8年度9月以降、土、日、祝日は部活動を行うことができなくなる。(教員が指導につけない) その対応として、地域の指導できる方や保護者が代表となり、土、日、祝日を中心に活動を行う組織が学校地域クラブ。基本的に学校は、活動に介入できない。

現在、春野中学校の4部活は、それぞれ学校地域クラブ(市教委に届け済み)がある。しかし、代表が保護者(主に3年生、部活でいう父母会長)であり、長い目で持続可能かという点、そうは言い切れない。また、活動場所が、学校施設となった場合、施設管理の面で教員の手助けが必要だったり、借用の費用の出所を考えたりするなどの問題もある。

結論として、少子化による部活動の見直しと地域部活動指導員の発掘が急務である。

資源回収事後アンケート結果

日程・活動内容について【自由記述(任意)】

- 20 ・1年生がみんな何時に行くのか分からず少し困りました。
- ・お茶の収穫時期で忙しい中、地域の皆様のご協力のもと、活動できました。子どものいる家庭がごくわずかですが、各自治会で回収をしてきてくださり、スムーズに終わることができました
 - ・例年通りの実施でよいと思う
 - ・役員の方が子供のいない地区を回ってくれているので、頭が下がります。家が離れてる地区などは、公民館などの決まった場所に集めてもらうだけでも回収がしやすくなると思います。
 - ・時期的には良かったと思います。子供のいる世帯が少ないので、子供のいる世帯のおじいさんなどが協力してくれました。協力してくれる人が居るのでスムーズに活動できました。
 - ・業者(リサイクルクリーン)にコンテナBOXの配置図をしっかりと渡して前回のような並びで一方通行で、荷物を下ろした車は通り抜けをして移動できるようにすれば、荷物を下ろすのも、運ぶ人たちも楽になる。小学校低学年の子供達の参加してくれています。車の出入りもあるので充分注意した方がよいと思います。
 - ・活動内容については、地域の方々が協力してくださって、大変助かりました。
 - ・特に問題はありません
 - ・終了時間が遅くなるよりは現状のままで早く終わる方が助かります

生徒の様子について【自由記述(任意)】

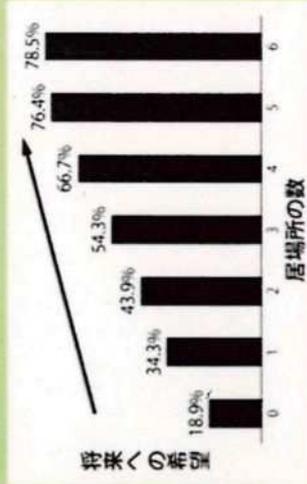
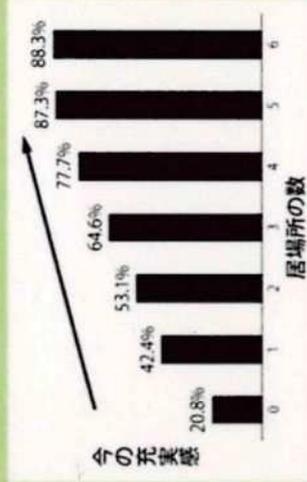
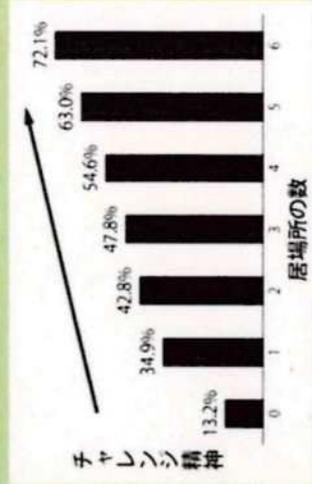
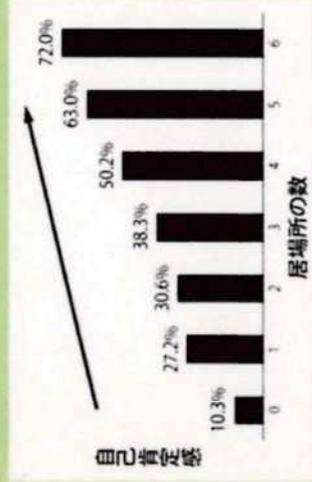
- 20 ・みんな一生懸命取り組んでいた
- ・みんな仕事を進んで協力して出来ていました。
 - ・協力して取り組んでいたと思う
 - ・学校行事で行っていると思いますが、親も子供も参加しない家があり、人数の少ない自治会もあるので、学校の方からも参加を促すような連絡を徹底してもらえれば助かります。その家庭は、ほぼ参加しません。
 - ・小学生の頃より働いていたと思います。
 - ・少ない人数で、一生懸命に取り組んでいたと思います。
 - ・手伝ってくれていました
 - ・搬入時、車のドアを開けると、すぐに回収してきた物を分別して出し入れしてくれました。助かりました。
 - ・生徒がいる場所では、生徒が精力的に頑張っていました。
 - ・生徒が時間差で収集場所に集まってくるのが気になりました。今後、生徒数が少なくなっていく中でどのようにしていくべきなのかと思います。
 - ・真剣に段ボールを乗せ下ろしていました。
 - ・積極的に手伝ってくれました。
 - ・積極的にコンテナ内収集物の運搬、整理を行っていた
 - ・自治会の方々と一緒に協力して作業ができました
 - ・集合に時間差はあったが、みんなしっかり働いていた。

その他、お気づきのこと【自由記述(任意)】

- 20 ・だんだん人が少なくなり回収が困難になってきていると思う。学校の入り口にでもいいから、回収ボックスを置いて常に回収する形をとればいいかなと思う。
- ・地域の人が、雑誌を紙ヒモ以外で縛ってある等細かい所は気になりましたが、概ね問題なかったと思います。
 - ・子供の人数も減り資源回収もかなり自治会の負担になっており、自治会又は、その自治会の役員さんなど、または個々に運搬してくれる人も居ます。今後継続はなかなか考えて行った方が良くと思います。急に今年から資源回収は辞めます！とは行かないと思うので、あと何年後からは破棄します。と言うような形で考えて行ったらどうでしょう？
 - ・小学生や小さい子が手伝ってくれるのは助かりますが、重いものを運んだり、アルミ缶を素手で触れたり危険だと感じました。
 - ・生徒の数が少なく、家庭数も激減していることから、地域の方々のご協力がないと成立しないことを実感いたしました。
 - ・集合時間を明確にして、守りたい。当日の天気や、遠方からのことを考えて、一定期間、定場所にはコンテナを置くのも一つの手。コミュニケーションをとったり、共同作業でみんなで汗かいたりする機会も大事にしたい。

居場所の数と自己認識の関係

内閣府「子供・若者総合調査」の実施に向けた調査研究（令和3年度概要版）
より転載/令和4年1月1日時点で10～15歳だった男女3600人を対象に調査



＊子供の成長の場は学校だけではない



＊子供が学校で成長するためには、豊かな地域・家庭との「つながり」が必要



「つながり格差」が
学力格差を生む

志水宏吉



なぜ秋田・福井が
全国学力テストの
トップクラスになったのか？

子どもの学力は人間関係の「つながり」で決まる/離婚率の低さ（家庭・家族と子どもとのつながり）、持ち家率の高さ（地域・近隣社会と子どもとのつながり）、不登校率の低さ（学校・教師と子どもとのつながり）/貧富の格差が、学力格差を生むのではない/家庭、地域、学校での、子どもたちと周囲との「つながり」格差が学力に強く影響する。(2014)

亜紀書房webより転載

<https://www.akishobo.com/book/detail.html?id=692>

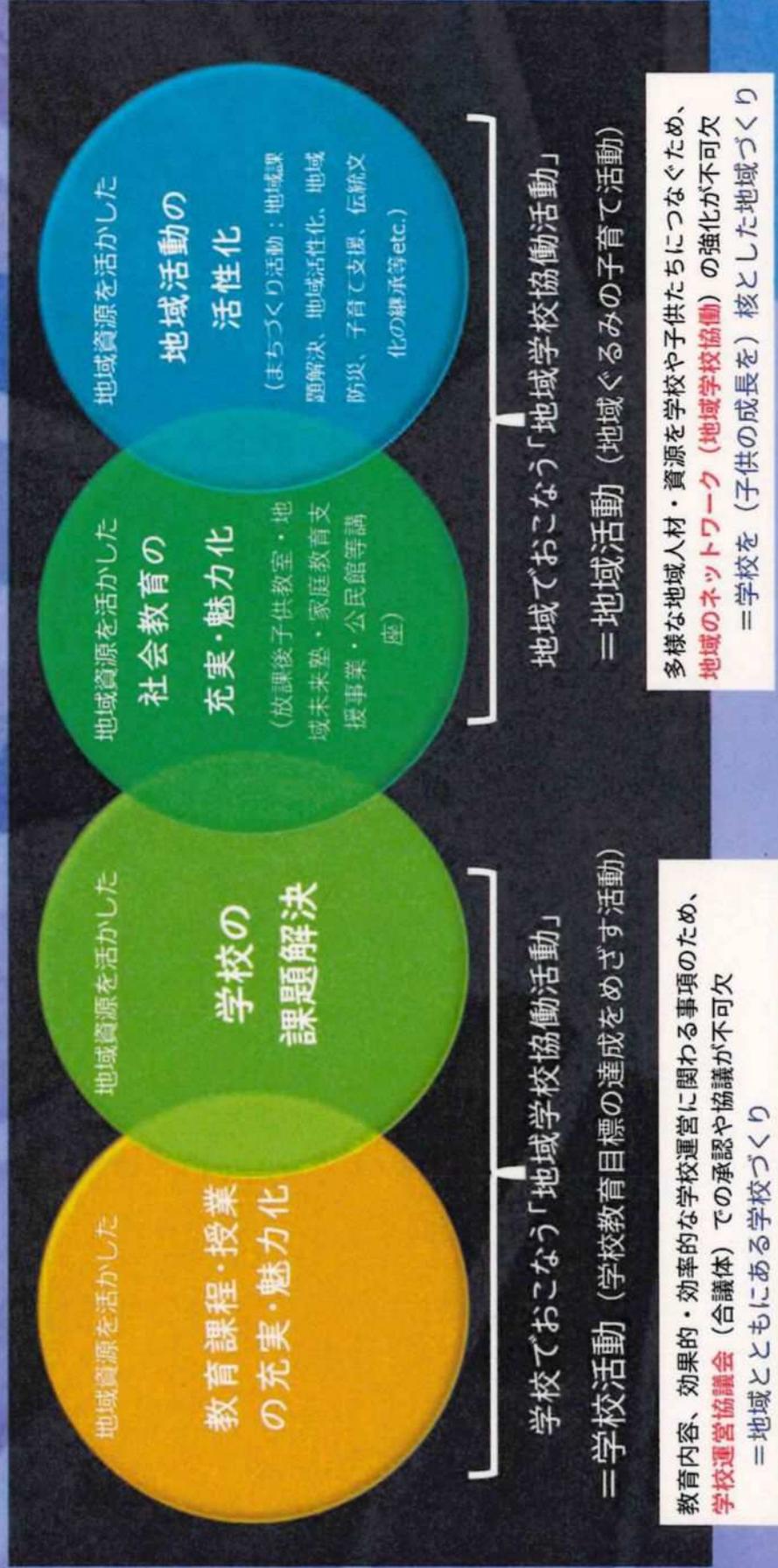
第四期教育振興基本計画

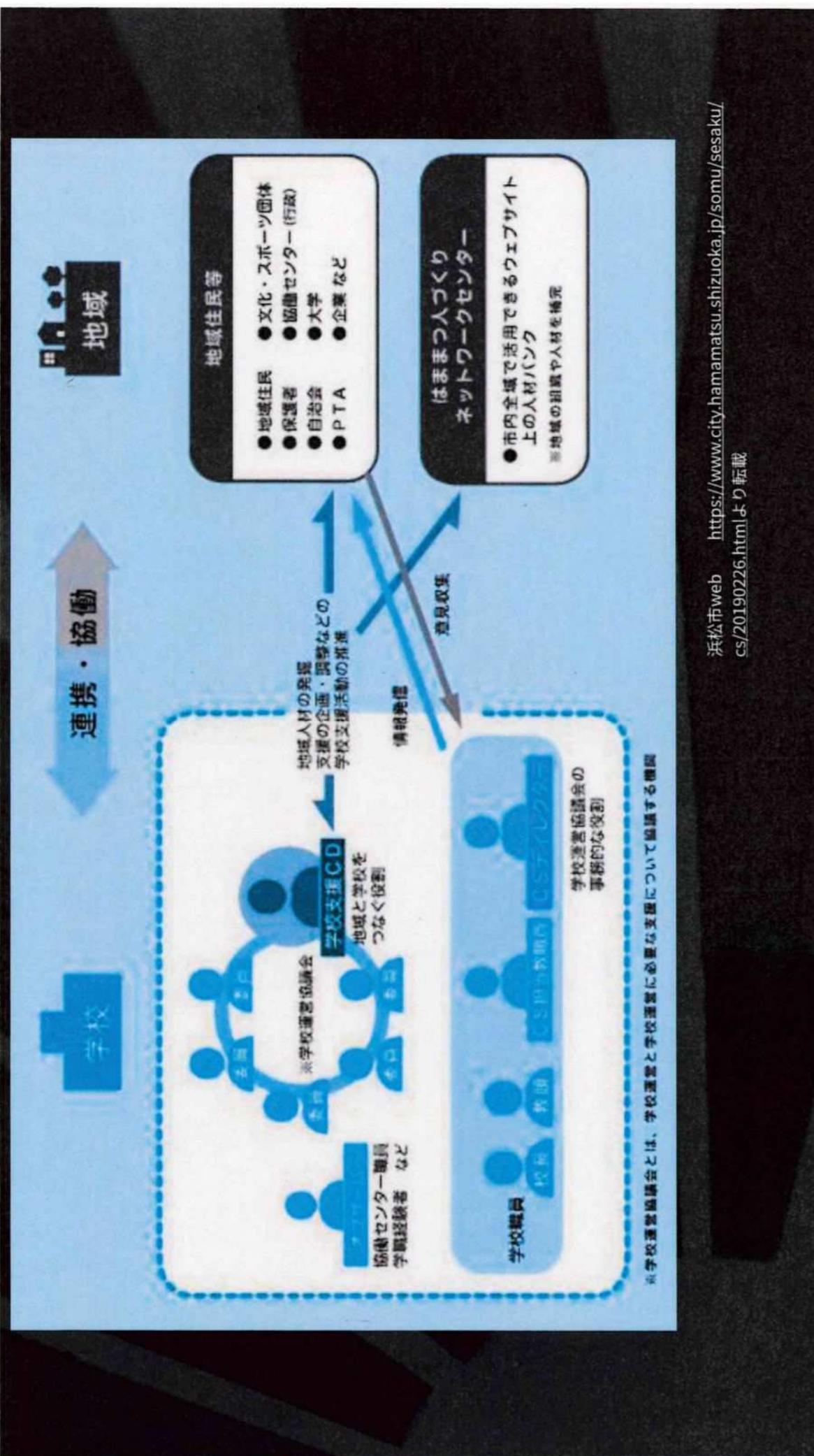
目指すは「持続可能な社会の創り手の育成」

担い手じゃないよ

浜松市教育総合計画（第4次）

方針1 自分や浜松の未来を創る人づくり





浜松市web <https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/somu/sesaku/cs/20190226.html>より転載

【参考】学校に関わってくださるみなさまへ

1

活動中、児童・生徒や教職員に関する個人的な情報を知ることあるかもしれませんが、秘密の保持には留意をお願いします。時には気になることもあろうかと思いますが、まずはイマドキのこども、先生、学校、保護者に寄り添う気持ちで接していただければ幸いです。

2

みなさまから出された地域学校協働活動のアイデアは、「大きなことからではなく小さなことから」、「大切なことからではなく面白そうなことから」を基
本に、取り組んでいきたいと思っています。

3

地域とともにある学校づくりの「地域」とは、特定のエリア・学区の住民というより、その学校に通う児童・生徒の成長に愛情と関心を寄せ、手を貸してくださる人どうしのネットワーク、ととらえています。
こどもの成長を真ん中に据えたあたたかな「つながり」が少しずつ広がることを願っています。

一緒につくろう！CS！

第17号

＼やらまいか！／地域とともにある学校づくり

令和7年5月21日

浜松市教育委員会 教育総務課 地域連携グループ

● CS担当教職員研修会 一令和7年1月24日(金) 一 場所：浜松市教育会館

毎年この時期に、学校運営協議会の在り方（果たすべき役割）や効果的な運営方法の理解を深めることを目的として実施しています。

令和6年度の重点「熟議の充実」に向けた取組について、CS担当教職員へのインタビューと資料を使い、事例を紹介しました。

① 相生小学校

熟議テーマ

主体性を育むためにできること(必要な支援について)

何のために ▶ 子供の主体性を育むために、学校・家庭・地域が同じ方向にベクトルを合わせて、具体策を出し合うため

【熟議テーマ設定の理由】

- 学校教育目標、学校運営の基本方針をふまえて、「主体的な学び」の場としての学校づくりに必要な環境について考える。
- そのために、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を認識し、当事者として考え、よりよい実践につなげる方向性の納得解を導き出す。



どこまで話し合うか

▶ 学校・家庭・地域で、できる支援(具体策)を考え、実践につなげる方策を提案する。

【工夫、成果等】

- 自分事として、実践化できる具体策を出し合うために
 - ☆ 熟議のテーマを2回目・3回目の協議会で複読して提案
 - ☆ テーマに沿った視点を明確にして、授業参観
- CS担当教職員としての役割
 - ☆ 事前に、管理職、主幹と、学校の方針を確認した上で、会長、部長との打合せに臨む。=会長、部長は、熟議の流れをおさえ、ファシリテーション(特に、委員の知見や得意分野を知り、全員参加の熟議となることを意識する)
- 成果⇒委員全員が、熟議してよかった、いい熟議(それぞれの立場で実現可能な具体策の方向性が見つかった。)になったという思いで、熟議を楽しみにするようになった。(達成感・満足感の高まり)



実践のための具体策

- × 学校・相手スタンダードを基にした提案やあいさつを出すことを引き続き行っていく。
- × 家庭・地域：あいさつプラス一言添える。主体性を引き出す「魔法の言葉」を掛ける。

② 和田小学校

熟議テーマ

子供たちの良いところ、課題、目指す子どもの姿

何のために ▶ 地域と学校が、子供の実態、目指す子ども像を共有し学校の基本方針に生かすため

【熟議テーマ設定の理由】

- 地域と学校が、子供たちの実態、目指す子ども像や必要な資質・能力を共有した上で、来年度の学校の基本方針を作成する必要性を感じたため。
- 協議会委員により深い学校参画を促すため、教員のCSへの理解を深めるため
 - ⇒ 全委員と全教員が熟議する場を設けた。



どこまで話し合うか

▶ 地域・学校の思いを明確にし、共有する

【工夫、成果等】

- 全教員と委員が7グループに分かれ、KJ法を用いて、子供たちの良いところ、課題となるところを話し合った。共有後、さらに目指す子ども像、必要な資質・能力について議論を深めた。
- 委員は、自分事として語り合う姿が見られた。教員も、地域の方々の思いに触れ、子供たちの将来をイメージして教育の方向性を考えることができた。



③ 雄踏中学校

熟議テーマ

雄踏ならではの教育及び教育の質の向上を目指した支援について

何のために ▶ 雄踏らしい学校づくりについて、地域の意見を取り込んで教育課程を作るため

【熟議テーマ設定の理由】

- 今後、雄踏の子供の数は減少方向。だからこそ、雄踏ならではの教育を推進し、魅力ある学校づくりをしていかななくてはならない。
- 学校運営協議会の責務は教育の質を向上させること。そのために、学校・家庭・地域それぞれが当事者として考え、何ができるか考える。



どこまで話し合うか

▶ 教職員へのアンケート「地域と連携して行いたいこと」を基に、学校・家庭・地域で、何ができるか？

【工夫、成果等】

- 雄踏町の人口推移データや教職員の意向をまとめたアンケート結果等、数値データを資料として示し、熟議。教職員のアンケートでは支援(「雄踏ならではの教育の実現に向けた支援」「子供と向き合う時間の確保のための支援」等)のねらい別に希望調査⇒**当事者意識の促進**
- グループ協議では、学校職員がファシリテーターやホワイトボード記録係を担い、CSディレクターが写真撮影と、役割分担。議長とは事前に打合せ⇒**しっかりと熟議時間を確保**
- 次の回では、同じテーマで生徒を交えた意見交換を実施した。事前準備として、生徒自身が協議会で伝える意見を考えたり、学年連帯「愛校心」を行ったりした。⇒**目指すゴールにたどり着くために、多様な形で複数回熟議**

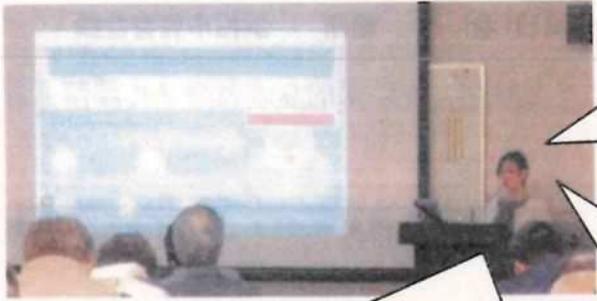
※ 別紙 拡大版参照

● **学校運営協議会委員研修会** ー令和7年 3月 5日(水) ー 場所：浜松市教育センター

令和4年度に、学校運営協議会を設置した学校で、新規に委員候補となる方を中心に、約110人(会場、ZOOM)が研修会に参加しました。

講話：「学校運営協議会の円滑な進め方について」

講師：文部科学省CSマイスター 一般社団法人エス・プレイス 代表理事 井上 尚子氏



学校運営協議会を設置した学校をコミュニティ・スクールといいます。
でも、「設置しただけでは、コミュニティ・スクールとはなりません。」

子供たちが社会で幸せに生きるために、学校教育があります。学習指導要領にも「社会に開かれた教育課程」とあります。だから、委員は、学校のことをもっと知ることが必要です。学校教育に関する用語で分からないことがあったら、どんどん先生方に聞いていくといいですね。

学校運営協議会の委員は、「学校の中の人(パートナー)」です。学校にお任せでなく、できることは一緒にいきましょう。

学校運営協議会の円滑な運営のポイント

1 学校運営協議会の役割を理解する。

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。「基本方針を承認する = 教育課程を承認する」
ポイントは、「 Together with 」・・・と共に！
・学校は、重点目標や議論してほしいポイントを分かりやすく説明。
- 学校運営について教育委員会または校長に意見を述べるができる。
ポイントは、「 Let's 」・・・各委員は主体的な担い手に！
・委員(自分のネットワークも含めて)が、「学校と連携して、課題の改善策について、試行してみるよ。」が理想。

2 学校運営協議会では、熟議が要と意識する。

委員各々の立場は違うが、多様性を尊重し相互の平等性を保ち(心理的安全性の保たれた場)、立場の違いを生かしながら、しっかりと協議！ 課題を共有し、アイデアを共有！
解決への一歩を踏み出す！ ネットワークづくりに委員も協力。コーディネーターを孤立させないチームでの動きが大切！

ポイントは、「 Act 」・・・述べた意見を形にできるように動く！

「みんなで熟議」を定着させよう

～「何のために」「どこまで話し合う」を意識し、次のような熟議を目指しましょう。～

- 学校(先生)と地域が共通認識をもつ、ベクトルを合わせていくための熟議
- 教育課程等の理解を深めていくための熟議(大人たちの学びの場)
- 何かを改善する、見直しをする、話し合いの結果を「かたち」にするための熟議

学校運営協議会の運営については、「目標をもって、ステップを踏んで」ステップアップしよう。

令和7年度 浜松地区中学校夏季総合体育大会日程表 春野中学校関係

		野球	卓球	ソフトテニス	陸上
6月21日 (土)			男子個人 湖西アメニティ	団体予選 明神池公園	
6月22日 (日)		2回戦 船越球場 対中部中 第2試合11:30~	女子個人 湖西アメニティ	予備日	
6月28日 (土)		3回戦	男子団体 湖西アメニティ	団体決勝トーナメント 花川運動公園	県大会 エコパ
6月29日 (日)		準々決勝			
7月5日 (土)		準決勝・決勝	予備日	個人戦1日目 花川運動公園	
7月6日 (日)		予備日	予備日	個人戦2日目 花川運動公園	浜松スポーツ祭 四ツ池
7月12日 (土)		予備日		予備日	
7月13日 (日)		予備日		予備日	
7月19日 (土)					
7月20日 (日)					
7月21日 (月)					
7月26日 (土)					中体連夏季陸上大会 四ツ池
7月27日 (日)					中体連夏季陸上大会 四ツ池
	注意事項等				

すめれの花咲くころ

浜松市立春野中学校

学校だより 4月21日号

文責：矢入（教頭）

春野中学校の令和7年度がスタートしました！



4月8日（火）、午前中に始業式、そして午後に入学式を行い、春野中学校の令和7年度がスタートしました。

多くのご来賓の方々や保護者の皆さまのご臨席を賜り、厳肅な雰囲気の中、入学式を執り行うことができました。誓いの言葉や教科書受領での、代表生徒の立派な姿。そして、呼名での大きな返事。緊張した面持ちの中にも、中学校生活への期待をにじませる新入生の皆さん。そんな姿を見ていると、「充実した教育活動を行わねば」と、私たち教職員も身の引き締まる思いでした。

今年度は、新たに16名の生徒を迎え、総勢48名となった春野中学校です。「春野を誇りとし、自他とかかわり、成長する生徒の育成～自立と共生～」の学校教育目標のもと、自然豊かな春野の地で、生徒、保護者、地域の皆さま、職員が一丸となって、子供の幸せのために邁進したいと思います。保護者や地域の皆さまには、ぜひいろいろな行事の際にはご来校のうえ、春中生の元気を感じていただければ幸いです。

1年間、どうぞよろしくお願いいたします！

（入学式の様子）



入学記念に、花桃の苗木をいただきました！

今年度も、犬居すみれ会の皆さまより、花桃の苗木を入学生一人一人にいただきました。ありがとうございました！今年度も一株多くいただいた苗木を、新入生の記念植樹として赤レンガ北に植える予定です。



5月の予定

<p>1日(木)心電図検査(1年) 内科検診(全校)</p> <p>3日(土)憲法記念日</p> <p>4日(日)みどりの日</p> <p>5日(月)こどもの日</p> <p>6日(火)振替休日</p> <p>8日(木)生徒総会 校外学習(1,2年)</p> <p>15日(木)眼科検診(全校) 尿検査3次</p> <p>18日(日)資源回収</p>		<p>19日(月)修学旅行(3年)</p> <p>20日(火)修学旅行(3年) 杉の子の日</p> <p>21日(水)修学旅行(3年) 午後カット</p> <p>22日(木)修学旅行(3年)</p> <p>25日(日)資源回収予備日</p> <p>26日(月)耳鼻科検診(全校)</p> <p>28日(水)午後カット</p> <p>30日(金)専門委員会</p>
---	--	---

令和7年度職員です。よろしくお願ひします！

校長	北野 昌宏	1学年主任	小林 雅樹	A L T	スティーブン・バート
教頭	矢入 信典	1-1担任	松本 闘志	非常勤講師	竹村 久生
教務主任	片瀬 博之	2学年主任	山田 真史	非常勤講師	甲斐加奈恵
養護教諭	山下三千代	2-1担任	藤井茉里菜	校務アシスタント	清水 悦子
栄養職員	金指 珠心	3学年主任	西尾 隆広	図書館支援員	渡邊 恵子
2組担任	來住 訓世	3-1担任	中村 和世	スクールカウンセラー	今泉千夏子
3組担任	塩崎 優	事務職員	坂本 明子		

〒437-0605 浜松市天竜区気田 380 番地の 2
浜松市立春野中学校 TEL (053) 989-0023

寸おれの花咲くころ

浜松市立春野中学校

学校だより 5月23日号

文責：矢入信典（教頭）

今年も行いました、秋葉山登山！！



4月16日（水）に毎年春恒例の秋葉山登山を行いました。天候にも恵まれ、生徒は元気に学校を出発し、全員目的地である上社まで登り切りました。職員も生徒に元気付けられながら、無事完登することができました。登山中は、あちこちで他人を気遣ったり思いやりたりする言動や励ましの言葉がありました。「チーム春野中」最高のスタート。今年も生徒・職員一丸となって、地域に元気を届けます！



3年生、修学旅行に行ってきました！



宝塚大劇場、入口階段にて



春野中 HP

3年生16名が、5月19日(月)～22日(木)に、3泊4日で修学旅行に行きました。今年度も、京都・奈良・大阪方面、毎年恒例の『宝塚観劇』も行いました。

生徒たちは、「さかのぼろう」～笑顔あふれる修学旅行～のスローガンのもと、日本古来の歴史や伝統文化に触れたり、級友との関係を深めたりすることができました。一生忘れることのない、かけがえのない思い出を作ることができました！



6月の予定



2日(月)⑥生徒集会	17日(火)歯科検診(1年)、ぶっくる
3日(火)⑤職業講話(2年) 健全育成会総会	18日(水)夏季大会壮行会
4日(水)歯科検診(3年)、6時間授業 部活あり	19日(木)新入生学校説明会 PTA運営委員会
6日(金)健康安全の日、5時間授業 部活なし	20日(金)杉の子の日
7日(土)陸上西部地区予選	21日(土)夏季大会
8日(日)陸上西部地区予選	22日(日)夏季大会
9日(月)④いのちについて考える日、⑥カット	23日(月)⑤参観会・学級懇談会、⑥カット
10日(火)テスト前部活なし	24日(火)テスト前部活なし(3年)
11日(水)定着度調査(5科)	25日(水)定着度調査I(3年)
12日(木)赤ちゃんとのふれあい体験(3年)	26日(木)生徒会長選挙運動(~27日) 学校運営協議会II
13日(金)福祉体験(3年)、部活動なし	27日(金)お茶講座(1年)、福祉体験(3年)
16日(月)教育相談(~20日) ふるさと給食週間(~20日) 歯科検診(2年)	28日(土)夏季大会
	29日(日)夏季大会
	30日(月)⑤専門委員会、⑥カット



☆5月18日(日)の第1回資源回収では、多くのご協力ありがとうございました！
第2回は、11月23日(日)です。よろしく願いいたします！